

様式第23号（第5条関係）

令和 5 年 3 月 31 日

笠岡市長 殿

所在地	笠岡市大島中1839-6
協議会名	大島まちづくり協議会
協議会長名	会長 浅野 ツヤ子

令和 4 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）  
変更申請書（兼）実績報告書

令和 4 年 6 月 1 日付け笠岡市指令協第 44 号で交付決定を受けた交付金について、次のとおり交付額の変更を申請します。併せて、次のとおり活動が完了したので、笠岡市魅力あるまちづくり交付金交付要綱第5条の規定により関係書類を添えて報告します。

記

1 変更交付申請額 653,266 円  
(交付金決算額)

[内訳]

(単位：円)

交付決定額 ①	変更交付申請額（交付金決算額）		返還額 ④
	当該年度支出額 ②	次年度繰越額 ③	
670,000	652,863	403	16,734

2 交付金が減額変更になった理由

定置網見学体験ツアーが出来なかった為。

【添付書類】

- (1) 笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）活動実績明細書（様式第24号）
- (2) 笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）収支決算書  
(様式第25号又は様式第25号の1)
- (3) 支払書類（レシート等）の原本（活動ごとに取りまとめたもの）
- (4) 事業の実施状況がわかる写真及び成果品
- (5) その他参考となる書類

様式第24号（第5条関係）

令和 4 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）活動実績明細書

協議会名 大島まちづくり協議会

活動No	1
活動名	”大島再発見”子どもたちに伝えたい大島の文化財と自然景観
前年からの繰越金	

1 目的、活動実施により期待される効果

【目的】	大島の文化財資源・観光資源を守り、後世に残してゆく。
【効果】	地域の人々の新しい発見と先人達の残した歴史を見つめなおすきっかけを提供する事ができ、特に未来を担う子供達の郷土愛が育つことを期待する。

2 実施期間

令和 4 年 4 月 1 日 ～ 令和 5 年 3 月 31 日  
 (計画期間 3 年中 2 年小)

3 実施場所

大島全地域、大島海に見える家、大島公民館、大島小学校、大島中学校、NPO海の校舎大東小。

4 活動に関わった人数・団体

○総人数： 370 人（ア＋イ）  
 （内訳）企画運営に関わった人数： 20 人（ア）  
 その他関係人数（当日参加者等）： 350 人（イ）  
 ○団 体： （団体名） 大島郷土史クラブ ， （団体名） 大島公民館  
 （団体名） 大島青少年健全育成連絡協議会 ， （団体名） NPO法人海の校舎大東小

5 実施内容

「大島再発見」写真展は、3会場で実施。会場①：大島小学校で個人懇談会に合わせて保護者・児童向けに7/12～14で開催、気に入った写真ベスト5を投票。会場②：大島中学校で登校日に合わせて8/1～3で開催、50問のクイズに挑戦してもらった。会場③：旧大島東小講堂で一般の方向向けに8/5～11に開催、ギャラリートークを行ったり・クイズ等楽しんでもらった。冊子については写真選定・読み合わせ・構成等を繰り返し、予定通り出来上がった。ホームページ(大島ぶらりガイド)は基本ベースを10月に立ち上げた。これからはこれの修正・追加を行い、来年度は動画作成等行い完成させる。

6 決算額

444,750 円（うち交付金分 444,750 円）

7 活動実施による成果及び課題

【成果】	ほぼ計画通り達成できたと思う。写真展は3会場で行った事、何かをやりながら(写真選び・クイズ)行った事で、皆さんに興味を持ってもらった事が大変よかった。中学校からは今後の作業を手伝わせて欲しい希望も頂いている。
【課題】	今年度は予算削減により活動がかなり窮屈であった。来年度は計画通りの予算でしっかりと最終年度の計画を達成したい。

様式第25号の1（第5条関係）

令和 4 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）収支決算書

協議会名 大島まちづくり協議会

活動No	1
活動名	”大島再発見”子どもたちに伝えたい大島の文化財と自然景観

【収入の部】 (単位：円)

区分	予算額 (I)	決算額 (II)	差引	摘要
市交付金	① 368,800	② 368,397	403	当該年度分
	⑤ 76,353	⑥ 76,353	0	前年度からの繰越分
その他収入	0	0	0	
			0	
			0	
			0	
計	445,153	444,750	403	

【支出の部】 (単位：円)

区分	予算額	決算額	差引	摘要
報償費		0	0	別紙「出納簿」のとおり
旅費		0	0	”
需用費	426,153	429,250	△ 3,097	”
役務費		0	0	”
使用料及び賃借料	19,000	15,500	3,500	”
備品購入費		0	0	”
0		0	0	”
0		0	0	”
			0	
計	445,153	444,750	403	決算額のうち市交付金分 ②+⑥ 444,750

< 交付金内訳 >

		当該年度分		前年度からの繰越分	
予算	(I)のうち	①	368,800	⑤	76,353
決算	(II)のうち	②	368,397	⑥	76,353
余剰金		①-②	403	⑤-⑥	0 (次年度繰越額)
うち次年度繰越額		③	403		
うち返還額		④	0		

※ 収入及び支出の区分欄は、適宜変更して使用すること。



# 出 納 簿

交付金区分                      活動交付金

活動名                      ”大島再発見”子どもたちに伝えたい大島の文化財と自然景観

費目	需用費	印刷製本費
----	-----	-------

No.                                      1                                      ↑ドロップダウンリストから選んでください。

No.	年	月	日	支払先	摘 要	支出額	支出累計
1	4	12	28	(株)創文社	”再発見”冊子代金	391,600	391,600
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
No. 1 小 計						391,600	



## 自己評価シート

(令和 4 年度)

No. 1

協議会名	大島まちづくり協議会
活動名	”大島再発見”子どもたちに伝えたい大島の文化財と自然景観

活動目的	大島の文化財資源・観光資源を守り、後世に残してゆく。
実施内容	「大島再発見」写真展は、3会場で実施。会場①：大島小学校で個人懇談会に合わせて保護者・児童向けに7/12～14で開催、気に入った写真ベスト5を投票。会場②：大島中学校で登校日に合わせて8/1～3で開催、50問のクイズに挑戦してもらった。会場③：旧大島東小講堂で一般の方向けに8/5～11に開催、ギャラリートークを行ったり・クイズ等楽しんでもらった。冊子については写真選定・読み合わせ・構成等を繰り返し、予定通り出来上がった。ホームページ(大島ぶらりガイド)は基本ベースを10月に立ち上げた。これからはこれの修正・追加を行い、来年度は動画作成等行い完成させる。

活動段階	評価項目	評価点
計画段階	地域の子供から高齢者まで幅広い世代の意見をきいて活動を計画することができたか。	2
	活動の目的・効果を地域のみならず共有することができたか。	2
	活動に参加するみんなで話し合い活動計画を立てることができたか。	3
	活動計画の目的・効果・内容などを地域住民に周知・共有できたか。 (活動の経費・理由・内容など)	2
	計画段階からより多くの住民や団体が活動に参加できるような呼びかけができたか。 (広報手段・日程調整など)	3
実施段階	活動中、地域住民が積極的に参加できる環境づくりができたか。 (男女共同参画の推進、地域の若者などに対して活動参加への積極的な呼びかけなど)	3
	活動中、参加者や協力団体とお互いの特性を活かした役割分担ができたか。	3
	活動中、地域住民や協力団体と協力して活動を進められたか。	3
	活動の進み具合に応じて、臨機応変に対応できたか。	3
振り返り	活動終了後、活動の成果や課題についてみんなで話し合うことができたか。	3
	地域のニーズに合致した活動ができたか。	2
	活動の成果や課題を共有し、今後の活動に向けて話し合うことができたか。	3
	活動をとおして、地域の中でまちづくり協議会の周知と理解を深めることができたか。	2
	活動終了後、活動の成果や課題を地域に地域に向けて周知することができたか。	2

※評価点について

4:よくできた 3:まあまあできた 2:あまりできなかった 1:全くできなかった

活動の成果	現状と課題
ほぼ計画通り達成できたと思う。写真展は3会場で行った事、何かをやりながら(写真選び・クイズ)行った事で、皆さんに興味を持ってもらった事が大変よかった。中学校からは今後の作業を手伝わせて欲しい希望も頂いている。	今年度は予算削減により活動がかなり窮屈であった。来年度は計画通りの予算でしっかりと最終年度の計画を達成したい。

### 今後の活動の方向性・改善策

最終3年目の活動としての看板設置、ホームページの完成、ウォーキング大会を完全に達成する事であるが、更にこの後もみんなが気軽にスマートホン片手に散策出来る様にしていきたいと思います。

様式第24号（第5条関係）

令和 4 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）活動実績明細書

協議会名 大島まちづくり協議会

活動No	2
活動名	クラフト・竹細工・定置網見学ツアー
前年からの繰越金	

1 目的、活動実施により期待される効果

【目的】	地域住民との交流を促進し、関係人口を増やす。
【効果】	地域の活性化が図られ地域力が上がる。

2 実施期間

令和 4 年 4 月 1 日 ～ 令和 5 年 3 月 31 日  
 (計画期間 〇 年中 〇 年日)

3 実施場所

旧大島東小学校、えびすや、大島郵便局

4 活動に関わった人数・団体

○総人数： 570 人（ア＋イ）  
 （内訳）企画運営に関わった人数： 150 人（ア）  
 その他関係人数（当日参加者等）： 420 人（イ）  
 ○団 体： （団体名） 大島美の浜漁協 ， （団体名） NPO法人海の校舎大東小  
 （団体名） 大島公民館 ， （団体名） 笠岡大島郵便局

5 実施内容

クラフト教室は定期的(4回/月)に実施できている。竹細工については殆ど実施できなかった。今年度は他の活動の関係で、小・中学生対象にクラフト・竹細工教室を1回づつ開催した。定置網については残念ながら漁協の人事等があり話ができなかった。

6 決算額

340,866 円（うち交付金分 197,466 円）

7 活動実施による成果及び課題

【成果】	クラフトは順調にできている。竹細工はほとんどできなかった。定置網見学は漁協と話ができなかった。
【課題】	竹細工は講師の諸事情でなかなか開催できず、残念ながら後継者がいない。定置網見学については、漁協の体制がよく分からず話し合いが出来ていない。



様式第25号（第5条関係）

令和4年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）収支決算書

協議会名 大島まちづくり協議会

活動No	2
活動名	クラフト・竹細工・定置網見学ツアー

【収入の部】 (単位：円)

費目	予算額	決算額	差引	摘要
市交付金	① 214,200	197,466	16,734	当該年度分
その他収入	141,800	143,400	△ 1,600	
クラフト教室授業料	105,600	141,600	△ 36,000	
竹細工教室授業料	16,200	1,800	14,400	
定置網見学参加費	20,000	0	20,000	
計	356,000	340,866	15,134	

【支出の部】 (単位：円)

費目	予算額	決算額	差引	摘要
報償費	176,000	142,000	34,000	別紙「出納簿」のとおり
旅費		0	0	〃
需用費	133,000	172,466	△ 39,466	〃
役務費		0	0	〃
使用料及び賃借料	47,000	26,400	20,600	〃
備品購入費		0	0	〃
0		0	0	〃
0		0	0	〃
			0	
			0	
計	356,000	340,866	15,134	決算額のうち市交付金分 ② <u>197,466</u>

市交付金の余剰金 ①－② 16,734 円

市交付金の余剰金のうち

次年度繰越額 ③ 0 円 返還額 ④ 16,734 円

※ 収入及び支出の区分欄は、適宜変更して使用すること。

## 出 納 簿

交付金区分

活動交付金

活動名

クラフト・竹細工・定置網見学ツアー

費目

報償費

No.

1

No.	年	月	日	支払先	摘 要	支出額	支出累計
1	4	4	30	講師1	クラフト教室講師料 (4M分)	4,000	4,000
2	4	4	30	講師2	クラフト教室講師料 (4M分)	4,000	8,000
3	4	4	30	講師3	クラフト教室講師料 (4M分)	4,000	12,000
4	4	5	28	講師1	クラフト教室講師料 (5M分)	4,000	16,000
5	4	5	28	講師2	クラフト教室講師料 (5M分)	3,000	19,000
6	4	5	28	講師3	クラフト教室講師料 (5M分)	4,000	23,000
7	4	6	25	講師1	クラフト教室講師料 (6M分)	4,000	27,000
8	4	6	25	講師2	クラフト教室講師料 (6M分)	4,000	31,000
9	4	6	25	講師3	クラフト教室講師料 (6M分)	4,000	35,000
10	4	8	1	講師1	クラフト教室講師料 (7M分)	4,000	39,000
11	4	8	1	講師2	クラフト教室講師料 (7M分)	4,000	43,000
12	4	8	1	講師3	クラフト教室講師料 (7M分)	4,000	47,000
13	4	8	21	講師4	竹細工教室講師料 (8/7)	1,000	48,000
14	4	8	21	講師5	竹細工教室講師料 (8/7)	1,000	49,000
15	4	8	30	講師1	クラフト教室講師料 (8M分)	5,000	54,000
16	4	8	30	講師2	クラフト教室講師料 (8M分)	5,000	59,000
17	4	8	30	講師3	クラフト教室講師料 (8M分)	5,000	64,000
18	4	9	24	講師1	クラフト教室講師料 (9M分)	4,000	68,000
19	4	9	24	講師2	クラフト教室講師料 (9M分)	4,000	72,000
20	4	9	24	講師3	クラフト教室講師料 (9M分)	4,000	76,000
21	4	10	28	講師4	竹細工教室講師料	1,000	77,000
22	4	10	28	講師5	竹細工教室講師料	1,000	78,000
23	4	10	29	講師1	クラフト教室講師料 (10M分)	4,000	82,000
24	4	10	29	講師2	クラフト教室講師料 (10M分)	4,000	86,000
25	4	10	29	講師3	クラフト教室講師料 (10M分)	3,000	89,000
26	4	11	26	講師1	クラフト教室講師料 (11M分)	4,000	93,000
27	4	11	26	講師2	クラフト教室講師料 (11M分)	4,000	97,000
28	4	11	26	講師3	クラフト教室講師料 (11M分)	4,000	101,000
29	4	12	21	講師1	クラフト教室講師料 (12M分)	3,000	104,000
30	4	12	21	講師2	クラフト教室講師料 (12M分)	3,000	107,000
31	4	12	21	講師3	クラフト教室講師料 (12M分)	3,000	110,000
32	5	1	28	講師1	クラフト教室講師料 (1M分)	3,000	113,000
33	5	1	28	講師2	クラフト教室講師料 (1M分)	3,000	116,000
34	5	1	28	講師3	クラフト教室講師料 (1M分)	3,000	119,000
35	5	2	25	講師1	クラフト教室講師料 (2M分)	4,000	123,000
36	5	2	25	講師2	クラフト教室講師料 (2M分)	4,000	127,000
37	5	2	25	講師3	クラフト教室講師料 (2M分)	4,000	131,000
38	5	3	25	講師1	クラフト教室講師料 (3M分)	4,000	135,000
39	5	3	25	講師2	クラフト教室講師料 (3M分)	4,000	139,000
40	5	3	25	講師3	クラフト教室講師料 (3M分)	3,000	142,000
No.1 小 計						142,000	

# 出 納 簿

交付金区分                      活動交付金

活動名                      クラフト・竹細工・定置網見学ツアー

費目	需用費	消耗品費
----	-----	------

No.                      1                      ↑ドロップダウンリストから選んでください。

No.	年	月	日	支払先	摘 要	支出額	支出累計
1	4	6	7	講師1	クラフトテープ代	40,258	40,258
2	4	6	10	ユーホー	クラフト教室消耗品（紙コップ	1,360	41,618
3	4	8	1	ダイソー	竹細工教室消耗品（定規・ハシ	1,760	43,378
4	4	8	5	ザ・ビッグ	クラフト教室消耗品（除菌用品他	1,358	44,736
5	4	8	6	ユーホー	竹細工教室消耗品（桧材・丸棒	1,613	46,349
6	4	8	6	ユーホー	竹細工教室消耗品（桧材・丸棒	382	46,731
7	4	8	6	セリア	竹細工教室消耗品（シール等	3,410	50,141
8	4	8	6	ユーホー	竹細工教室消耗品（ボンド他	1,290	51,431
9	4	8	6	ダイソー	竹細工教室消耗品（シール	110	51,541
10	4	8	6	ダイソー	竹細工教室消耗品（ゴムバンド	110	51,651
11	4	8	24	講師1	クラフトテープ代	46,454	98,105
12	4	11	10	ユーホー	クラフト教室（灯油代	1,872	99,977
13	4	11	27	ザ・ビッグ	クラフト教室消耗品（除菌用品他	2,070	102,047
14	5	1	9	ザ・ビッグ	クラフト教室消耗品（除菌用品	1,254	103,301
15	5	1	16	講師1	クラフトテープ代	29,245	132,546
16	5	1	19	ザ・ビッグ	クラフト教室消耗品（紙コップ	1,397	133,943
17	5	3	2	講師1	クラフトテープ代	15,280	149,223
18	5	3	15	講師1	クラフトテープ代	8,900	158,123
19	5	3	19	ユーホー	クラフト教室消耗品（ボンド	1,872	159,995
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
No. 1 小 計						159,995	





## 自己評価シート

(令和 4 年度)

No. 2

協議会名	大島まちづくり協議会
活動名	クラフト・竹細工・定置網見学ツアー

活動目的	地域住民との交流を促進し、関係人口を増やす。
実施内容	クラフト教室は定期的(4回/月)に実施できている。竹細工については殆ど実施できなかった。今年度は他の活動の関係で、小・中学生対象にクラフト・竹細工教室を1回づつ開催した。定置網については残念ながら漁協の人事等があり話ができなかった。

活動段階	評価項目	評価点
計画段階	地域の子供から高齢者まで幅広い世代の意見をきいて活動を計画することができたか。	2
	活動の目的・効果を地域のみinnで共有することができたか。	2
	活動に参加するinnで話し合い活動計画を立てることができたか。	2
	活動計画の目的・効果・内容などを地域住民に周知・共有できたか。 (活動の経費・理由・内容など)	2
	計画段階からより多くの住民や団体が活動に参加できるような呼びかけができたか。 (広報手段・日程調整など)	2
実施段階	活動中、地域住民が積極的に参加できる環境づくりができたか。 (男女共同参画の推進、地域の若者などに対して活動参加への積極的な呼びかけなど)	2
	活動中、参加者や協力団体とお互いの特性を活かした役割分担ができたか。	2
	活動中、地域住民や協力団体と協力して活動を進められたか。	2
	活動の進み具合に応じて、臨機応変に対応できたか。	2
振り返り	活動終了後、活動の成果や課題についてinnで話し合うことができたか。	2
	地域のニーズに合致した活動ができたか。	2
	活動の成果や課題を共有し、今後の活動に向けて話し合うことができたか。	2
	活動をとおして、地域の中でまちづくり協議会の周知と理解を深めることができたか。	2
	活動終了後、活動の成果や課題を地域に地域に向けて周知することができたか。	2

※評価点について

4:よくできた 3:まあまあできた 2:あまりできなかった 1:全くできなかった

<b>活動の成果</b> クラフトは順調にできている。竹細工はほとんどできなかった。定置網見学は漁協と話ができなかった。	<b>現状と課題</b> 竹細工は講師の諸事情でなかなか開催できず、残念ながら後継者がいない。定置網見学については、漁協の体制がよく分からず話し合いが出来ていない。
---	---

### 今後の活動の方向性・改善策

竹細工教室については、まず後継者を探さないと継続できない。定置網見学については、漁協との話し合いがまず必要だと考えている。

様式第24号（第5条関係）

令和 4 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）活動実績明細書

協議会名 大島まちづくり協議会

活動No	3
活動名	地域間交流促進事業
前年からの繰越金	

1 目的、活動実施により期待される効果

【目的】	多世代間の交流の機会を増やす。
【効果】	交流人口の増加により地域活動の活性化につながる。

2 実施期間

令和 4 年 4 月 1 日 ～ 令和 5 年 3 月 31 日  
 (計画期間 1 年中 1 年目)

3 実施場所

笠岡市役所通り

4 活動に関わった人数・団体

○総人数： 50 人（ア+イ）  
 （内訳）企画運営に関わった人数： 10 人（ア）  
 その他関係人数（当日参加者等）： 40 人（イ）  
 ○団体： (団体名) \_\_\_\_\_, (団体名) \_\_\_\_\_  
 (団体名) \_\_\_\_\_, (団体名) \_\_\_\_\_

5 実施内容

よっちゃんれにひまわり連として参加した。  
 お祭りは残念ながらすべて中止だった。

6 決算額

88,791 円（うち交付金分 87,000 円）

7 活動実施による成果及び課題

【成果】	お祭りは中止で何もできなかった。しかし、3年ぶりのよっちゃんれに多世代の人々が集まり大いに絆を深め、今後の活動に積極的に参加することが確認できた。
【課題】	長引くコロナが収束し、催し物が再開される事にかかっている。

様式第25号（第5条関係）

令和 4 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）収支決算書

協議会名 大島まちづくり協議会

活動No	3
活動名	地域間交流促進事業

【収入の部】 (単位：円)

費目	予算額	決算額	差引	摘要
市交付金	① 87,000	87,000	0	当該年度分
その他収入	0	1,791	△ 1,791	
自己資金		1,791	△ 1,791	
			0	
			0	
計	87,000	88,791	△ 1,791	

【支出の部】 (単位：円)

費目	予算額	決算額	差引	摘要
報償費		0	0	別紙「出納簿」のとおり
旅費		0	0	〃
需用費	67,000	76,791	△ 9,791	〃
役務費		0	0	〃
使用料及び賃借料	5,000	0	5,000	〃
備品購入費		0	0	〃
参加費	15,000	12,000	3,000	〃
0		0	0	〃
			0	
			0	
計	87,000	88,791	△ 1,791	決算額のうち市交付金分 ② <u>87,000</u>

市交付金の余剰金 ①-② 0 円

市交付金の余剰金のうち

次年度繰越額 ③ 0 円 返還額 ④ 0 円

※ 収入及び支出の区分欄は、適宜変更して使用すること。





# 出 納 簿

交付金区分 活動交付金

活動名 地域間交流促進事業

費目 参加費

No. 1

No.	年	月	日	支払先	摘 要	支出額	支出累計
1	4	8	15	笠岡よっちゃんれの夜実行委員会	よっちゃんれ参加費	12,000	12,000
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
No.1 小 計						12,000	

## 自己評価シート

(令和 4 年度)

No. 3

協議会名	大島まちづくり協議会
活動名	地域間交流促進事業

活動目的	多世代間の交流の機会を増やす。
実施内容	よっちゃんにひまわり連として参加した。 お祭りは残念ながらすべて中止だった。

活動段階	評価項目	評価点
計画段階	地域の子供から高齢者まで幅広い世代の意見をきいて活動を計画することができたか。	3
	活動の目的・効果を地域のみinnで共有することができたか。	2
	活動に参加するinnで話し合い活動計画を立てることができたか。	3
	活動計画の目的・効果・内容などを地域住民に周知・共有できたか。 (活動の経費・理由・内容など)	2
	計画段階からより多くの住民や団体が活動に参加できるような呼びかけができたか。 (広報手段・日程調整など)	2
実施段階	活動中、地域住民が積極的に参加できる環境づくりができたか。 (男女共同参画の推進、地域の若者などに対して活動参加への積極的な呼びかけなど)	2
	活動中、参加者や協力団体とお互いの特性を活かした役割分担ができたか。	3
	活動中、地域住民や協力団体と協力して活動を進められたか。	3
	活動の進み具合に応じて、臨機応変に対応できたか。	3
振り返り	活動終了後、活動の成果や課題についてinnで話し合うことができたか。	2
	地域のニーズに合致した活動ができたか。	2
	活動の成果や課題を共有し、今後の活動に向けて話し合うことができたか。	2
	活動をとおして、地域の中でまちづくり協議会の周知と理解を深めることができたか。	2
	活動終了後、活動の成果や課題を地域に地域に向けて周知することができたか。	2

※評価点について

4:よくできた 3:まあまあできた 2:あまりできなかった 1:全くできなかった

<b>活動の成果</b> お祭りは中止で何もできなかった。しかし、3年ぶりのよっちゃんに多世代の人々が集まり大いに絆を深め、今後の活動に積極的に参加することが確認できた。	<b>現状と課題</b> 長引くコロナが収束し、催し物が再開される事にかかっている。
--	---

### 今後の活動の方向性・改善策

地域での催し物があれば、まちづくり協議会として中に入り、積極的、中心的に活動していく。